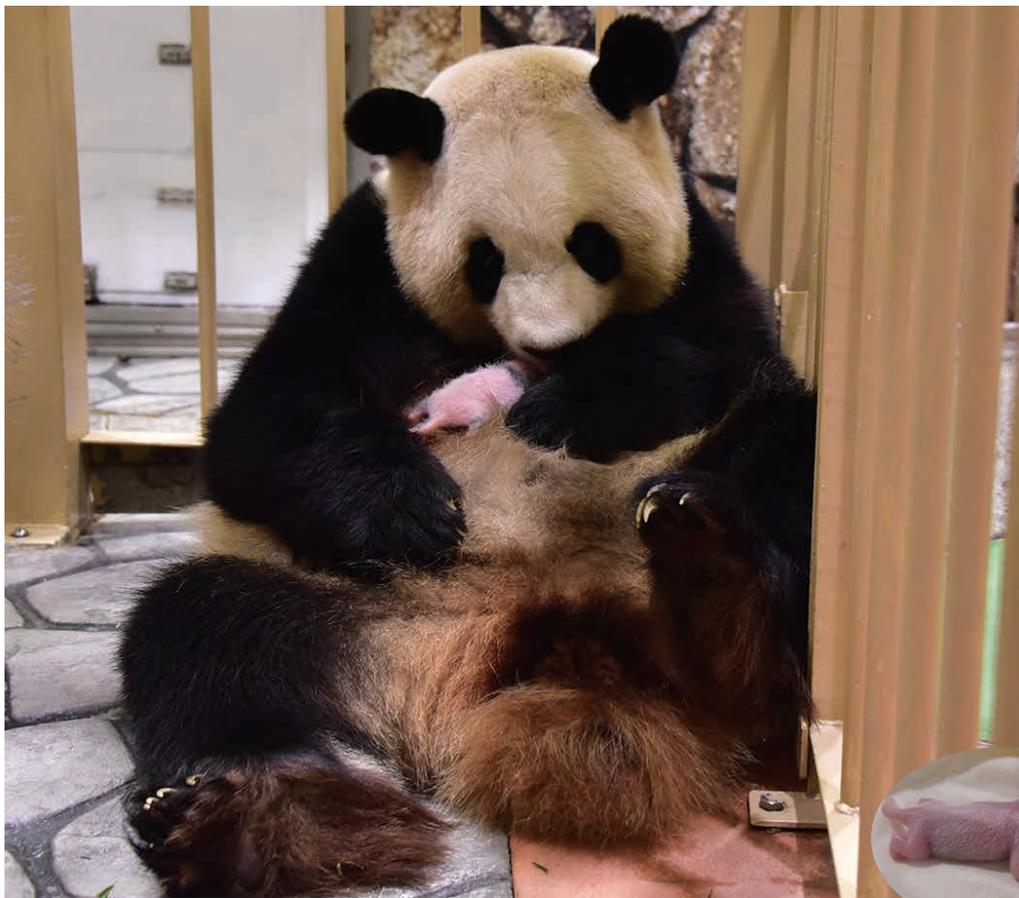




白浜で生まれたよー! 16頭目の ジャイアントパンダが



赤ちゃんパンダを愛おしそうに抱きかかえる良浜。授乳だけでなく、舐めて排泄を促したり、綺麗にしたりするなど子育てでも慣れたもの。

生まれたばかりの赤ちゃんパンダは、まだ毛も生え揃っていない。



8月14日(火)、白浜町でジャイアントパンダの赤ちゃんが誕生。わずか75gで生まれた小さなパンダの成長は、スタッフが一丸となって繋ぐ命のバトンの物語。

中国を除き世界最多である15頭のジャイアントパンダの繁殖に成功した「アドベンチャーワールド」。このパンダの聖地ともいえる白浜町に、16頭目となる可愛い赤ちゃんパンダが生まれた。出生時の体重は75g、全長15.5cmと同施設で過去最小。当初は自力で母乳を飲むことができず、保育器に入れて飼育スタッフが授乳をサポート。体温調整に気を使いながら24時間体制で健康状態を見守る。赤ちゃんパンダの誕生は結浜以来約2年ぶり、母パンダの良浜にとっては9頭目、父パンダの永明にとつては15頭目の赤ちゃんとなる。

たのかその原因や対策など、そういう背景まで興味をもってもらいたいですね」とパンダ飼育歴11年の先輩飼育員遠藤倫子さんは語る。「私にとつては初めてのパンダ担当で非常に緊張しています。とはいえ赤ちゃんパンダの直接な世話ではなく、他のパンダたちの世話や観察記録を行っています。パンダの妊娠は分かりにくく、今まで積み重ねられてきた観察記録がなければ、今回の妊娠兆候もわからなかったかもしれせん」と中谷有伽さん。

赤ちゃんパンダは現在(9月14日時点)、出生時の約10倍である773gに成長。自ら体温調整もできるようになり、今では1日の半分以上を良浜と時間を共にする。良浜の愛情の深さは疑いようがないが、世界最多のパンダ繁殖の影には、飼育スタッフたちの詳細な観察と、愛情に満ちた飼育体制があった。



ジャイアントパンダ飼育スタッフは、獣医などを除き全員で8名。毎朝夕のミーティングでは、赤ちゃんパンダだけでなく永明や良浜など合計6頭のパンダたちの健康状態などが報告され、情報を共有する。



日本一の大家族、6頭のジャイアントパンダが暮らす同施設。パンダラブでは双子パンダの「桜浜(おうひん)・桃浜(とうひん)」と2年前に生まれた「結浜」が暮らし、ガラス越しではない生パンダに出会えると大好評。

アドベンチャーワールド
住所/西牟婁郡白浜町堅田2399
電話/0570-06-4481(ナビダイヤル)

Panda
was
born!

